第100号
昭和40年(1965)
4月20日 発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
（3月末日現在）

世帯数	7.583
男	17,749人
女	19.157人
計	36.906人

今月の市税
▷固定資産税　第1期分
▷軽自動車税　全期分
納期　4月30日

第一回 市議会定例会 終る

新年度予算など決まる

▽……三月定例市議会が、さる三月十日から市役所で開かれ、昭和四十年……△
▽……度の一般会計予算など議案三十二件を審議、二十四日の最終本会議で……△
▽……全議案を原案どおり可決し、会期一日間を残して閉会しました。……△

今回の市議会では、なんといつても新年度の予算が決められたことです。しかも予算規模も災害復旧費が大きく計上され、空前の大型予算となつたことは注目にあたえします。（新年度予算関係二面へ）そのほかでは、税条例の改正、三役など特別職の給与、議員の報酬改正、学校の統合、市庁舎の建設が決まつたことなどが主なものです。

三役の給与等引きあげ

栃尾市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正が原案可決され、市長など三役の給料が次のとおり変りました。

市長＝「八万五千円」を「九万五千円」
助役＝「六万五千円」を「七万五千円」
収入役＝「五万八十円」を「六万八千円」

○　　○

教育長の給与も次のとおり改められました。

教育長＝「五万二千円」を「五万八千円」

議員の報酬もかわる

栃尾市議会議員の報酬も条例の改正により次のとおりになりました。

議長＝「二万五千円」を「三万円」
副議長＝「二万二千円」を「二万五千円」
議員＝「二万円」を「二万三千円」

これらは、さきの栃尾市特別職報酬等審議会に市長が諮問し、その答申にもとづいて議会に提出し、それぞれ原案可決されたものです。

市庁舎の新築を可決

市庁舎を金町地内に新築することにきまりました。建設する場所は、金町地内の旧郷病院あとで、鉄筋コンクリート造りで建てられるものです。

下塩小と樫出小を統合

昭和四十一年度をもつて市立下塩小学校と樫出小学校を統合することに決まりました。

塩川分校を本校へ統合

市内入塩川にあつた市立上塩中学校塩川分校は、四月一日づけで本校に統合されました。

39年度一般会計予算を補正
職員退職金など二千万円

昭和三十九年度一般会計補正予算が原案可決されました。今回の補正額は、二、〇四五万九千円で、補正後の予算額は、八億一、二九三万六千円となりました。補正額のうち主なものは、次のとおりです。

歳出 総務費が、一、二九九万八千円で全体の六四％を占めております。この主なものは、このたびの勧奨退職による退職一時金です。

土木費が、一六〇万円、これはブルドーザーの修繕料や道路維持の砂利代、道路除雪費などです。

教育費、四一六万三千円、主なものは、職員の退職による退職一時金、半蔵金小学校校庭整備補償金、統合校舎備品購入費、下塩小学校電話架設費であります。

歳入 地方交付税が、一、〇九〇万円、このうち普通交付税が五二九万五千円特別交付税が五六〇万五千円（見込額）です。繰越金が五四〇万一千円市債が三九〇万円、国庫支出金が一二五万五千円などであります。

一日三万人分を処理
し尿処理場完成

住みよい郷土づくりをめざして、昭和三十八年度から二カ年計画で着工した、し尿処理場がこのほど完成し、三月二十一日から処理をはじめました。

この施設は、消化槽方式で一日に三〇キロリットル約三万人分のし尿を消化できるものです。

工費は、六、六〇〇万余円で、栗田工業株式会社が施工したものです。この施設の完成によつて、くみ取りが迅速化され、今までとかく問題になりがちであつた、し尿の処理についても解決され衛生的に処理されることになります。

【写真は、できあがつたし尿処理場】

下塩小完成
市内で始めて鉄筋建

市立下塩小学校（統合校舎）は大字吉水地内に建築中でありましたが、このほど完成しました。

この校舎は、市内で、はじめての鉄筋コンクリート三階建一、四〇九・一平方米（四二七坪）のりつぱな校舎で工費は、三、〇一九万円（一、二二〇万円は、郵政省の簡易保険資金の融資をうけたもの）で加茂市の小柳組が請負三月十日に完成、三月十五日から授業をはじめたものです。

【写真＝モダンな鉄筋三階建の下塩小学校】

教員住宅完成
上ノ原に鉄筋三階建

市内上ノ原に建築中であつた教員住宅が、三月三十日完成しました。この住宅は、教員の住宅難を少しでも緩和したいということで、昨年十月に着工し、このほど完成したものです。

住宅は、鉄筋コンクリート三階建で十二世帯が入れるもので、各世帯には、風呂、便所を設備した近代的な建物です。

工費は、一、七五四万七千円で共栄土建株式会社が施工したものです。

市長 市議補欠選挙の補充名簿調製
登録申請は五月二日まで

選挙人名簿に登録されていないと投票することができません。

五月九日（日曜）に行なわれる予定の市長および市議会議員補欠選挙のために四月二十九日現在で、補充選挙人名簿を作ります。

これは昨年九月十五日現在で作つた、基本選挙人名簿に登録されないで、その後新しく選挙権を得られた人のために本人からの申請によつて名簿に登録するものです。

昨年十月以後戸籍係の窓口で補充選挙人名簿に登録申出をされた人を除き、四月三十日から五月二日(午後五時)までの間に選挙管理委員会へ、補充選挙人名簿登録申請をしてください。

登録申請をする必要のある人は、次のような人です。

一、昭和十九年十二月二十二日から、昭和二十年四月三十日までの間に生れた人。
二、市外から栃尾市内に住所を移された人（昨年六月十六日から今年の一月二十九日までの間に転入された人）
三、昨年九月十五日現在で作つた基本選挙人名簿に登録もれになつた人
四、昨年九月十五日以後選挙権停止を解除された人

申請用紙は、選挙管理委員会にありますので、認印を持つておいでください。

（基本選挙人名簿に登録されているかどうかを知るために、市長、市議補欠選挙の投票所入場券を四月末頃までにお配りする予定です）

教育長 石綿政治氏辞職

市の教育長であつた石綿政治氏は、三月三十一日づけで辞職されました。

氏は、昭和二十八年四月から十二年間の長い間市の教育長として、教育振興に尽力され数多くの功績を残されております。

市長選挙
市議会議員補欠選挙
五月九日投票日

市役所人事異動

市役所の人事異動が四月一日づけで、次のとおり発令されました。

今回、発令されたものは、課長級八名をふくむ異動と、新採用者、嘱託配属であり、毎年の人事異動の中でも大がかりなものといえます。

【総務課】▽財務係長　片岡喜三男（収入役室）▽同課　佐藤陞雄（教育委員会）▽同課　葛綿慎（保健衛生課）▽同課　諏佐イサ（新採）▽同課　大崎和子（新採）

【税務課】▽課長　諸橋賢（同課長補佐兼市民税係長）▽課長補佐兼庶務係長　中沢記代司（同課固定資産税係長）▽固定資産税係長　佐藤二一（同課）▽市民税係長　笠井末広（同課）▽田中昭一（総務課）▽同課　韮沢源兵衛（ガス水道課）▽今井十志崇（建設課）▽同課　大浦方悦（議会事務局）▽同課　小林弘（新採）▽同課　鎌田秋江（新採）

【建設課】▽課長　坂内一男（同課長補佐兼庶務係長）▽課長補佐兼庶務係長　藤崎信夫（ガス水道課ガス係長）▽同課　諏佐栄一（新採）▽同課　斉藤正敏（新採）▽同課　小林トシ子（新採）

【産業課】▽同課　水口哲哉（税務課）▽同課　渡辺清澄（新採）▽同課　惣角盛郎（新採）▽同課　原定幸（新採）▽同課　今井リウ子（新採）

【厚生課】▽福祉事務所長兼厚生課長　渡辺英一（同課長補佐兼福祉事務所援護係長）▽同課長補佐兼福祉事務所援護係長　小林政右エ門（同課）▽社会係長　保科登志夫（総務課）▽国民年金係長　千野善正（農業委員会）▽同課　内山康也（ガス水道課）▽同課　金内梅吉（嘱託）

【保健衛生課】▽課長　高橋弘一（総務課財務係長）▽課長補佐兼保険係長　那須秀男（厚生課国民年金係長）▽衛生係長　植村盛吾（同課）▽同課　斉藤トシ（新採）▽同課　大橋ヨシ子（新採）▽同課　林政吉（嘱託）▽同課　石丸竹蔵（嘱託）

【ガス水道課】▽ガス係長　勝沼勘一郎（建設課）▽同課　猪島秀和（税務課）▽同課　葛綿哲夫（税務課）▽同課　矢沢栄一（新採）▽同課　渡辺幸夫（新採）▽同課　渡辺吉一（新採）

【収入役室】▽同室　佐野直（ガス水道課）

【農業委員会出向】▽佐野源八（産業課）

【議会事務局出向】▽佐藤伸誉（税務課）▽下村和子（保健衛生課）

【教育委員会出向】▽河井裕（新採）▽佐藤幸夫（新採）

【退職】（三月三十一日づけ）▽藤井勇（税務課長）▽佐藤福治（福祉事務所長兼厚生課長）▽姉崎甚太郎（保健衛生課長）▽諏佐孝一郎（厚生課社会係長）▽剣持忠夫（保健衛生課長補佐兼保険係長）▽林政吉（保健衛生課衛生係長）▽金内梅吉（厚生課）▽石丸竹蔵（保健衛生課）

教育委員会人事発令

＝四月一日づけ＝

【庶務課】▽課長・教育長職務代理　大久保雄二（議会事務局長）▽同課　河井裕（新採）

【学校教育課】▽課長　桐生四男也（税務課庶務係長）▽同課　佐藤幸夫（新採）

【社会教育課】▽課長　葛綿源吾（学校教育課長）▽同課　飯浜一郎（嘱託）

【教育委員会】▽大港文二（嘱託）

【公民館】▽館長　山内貞次（嘱託）▽同館　中西義栄（社会教育課）

【栃尾市へ出向】▽佐藤陸雄（庶務課）

＝四月十日づけ＝

▽公民館副館長　斎藤永吉（同館）▽社会教育主事　山内貞次

災害復旧費二億五千万円
大きくふくらんだ市の生計費

一般会計 7億8,993万8,000円

新年度予算がまとまりました。

一般会計の予算総額は、七億八、九九三万八千円となり前年度にくらべて三億四、二〇六万円の増となりました。

この増えた額のうち一番大きいものは災害復旧費であり前年度にくらべて二億三、六一一万七千円増の二億五、七〇八万六千円となつています。

次が総務費で、前年度にくらべて八、九五五万円の増で一億五、一五一万三千円となつています。この増額となつたものは、主として市庁舎建設費です。以下款別には、下表をごらんください。

ことしは こんなことを

新年度予算の大きな特色は災害復旧に力を入れ、昭和四十年度の一般会計予算のうち災害復旧費が三十三パーセントもしめていることで、このうち農林水産施設災害復旧費が一億三、八六五万三千円で前年度にくらべて一億二、〇二一万六千円ふえております。

また、公共土木施設災害復旧費は一億一、八四三万三千円で前年度にくらべて、一億一、五九〇万一千円の増で、この中には、橋りようで平橋外八橋が永久橋、真木橋外一橋が木橋、道路では大川戸、栃堀線外二カ所の復旧などです。

▽総務費が一億五、一五一万三千円、この中には、二カ年の継続事業として建築する市庁舎建設費が含まれております。

▽小学校費が五、六一三万九千円、この中には、栗山沢小学校の新築工事費、下塩小学校建築継続分の本工事費、その他の付帯工事費が計上してあります。

▽中学校費が三、三五一万三千円、この中には、塩川分校を本校に統合して本校舎の増築、木造二階建四二九平方米（一三〇坪）建築するものでその付帯工事費が計上されています。

南中学校体育館建築第二期工事、木造三二六、七平方米（九九坪）七五八万円、本工事費六九三万円でその他付帯工事費が計上されています。

▽道路橋りよう費は、三、〇八九万円、前年度にくらべ二十六パーセントの減になつていますが、災害復旧で多くの事業を行ないますので、実質的には、昨年より事業は多いことになります。

▽道路維持費が五〇〇万円で一二パーセント、道路新設改良費が七二〇万円で七パーセント、前年度にくらべ多くなつております。

▽橋りよう維持費が一四五万四千円、橋りよう新設改良費が六七六万六千円、道路除雪費が一〇〇万円計上されており、道路維持費の中には、大町、金町線外の工事費、道路新設改良費では、南中、木山沢線外の工事費、橋りよう新設改良費の中には、本所橋外二橋を永久橋に、軽井沢橋外一橋を床板橋にそれぞれの架替工事費が含まれております。

▽民生費は、七、一二〇万円で前年度にくらべて一八パーセントの増で、中でも生活保護費が六五パーセントを占めております。

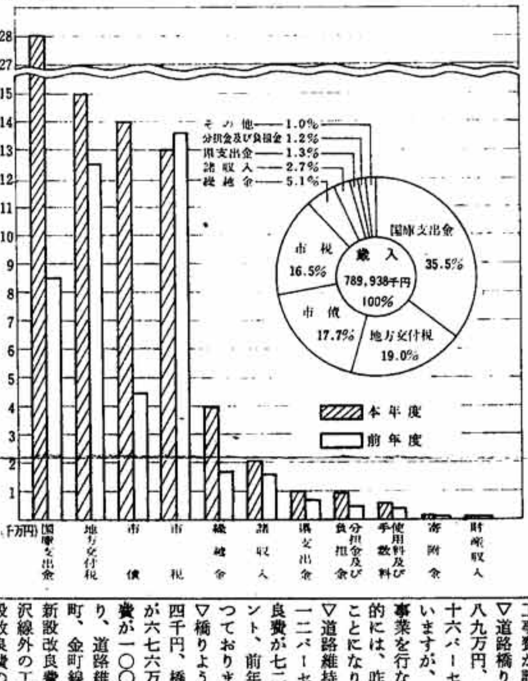
これは、一人当りの基準生活費があがつたためです。

▽衛生費は、四、一五五万三千円で、この中には、じん介焼却炉建設費二、一九五万三千円が計上されています。

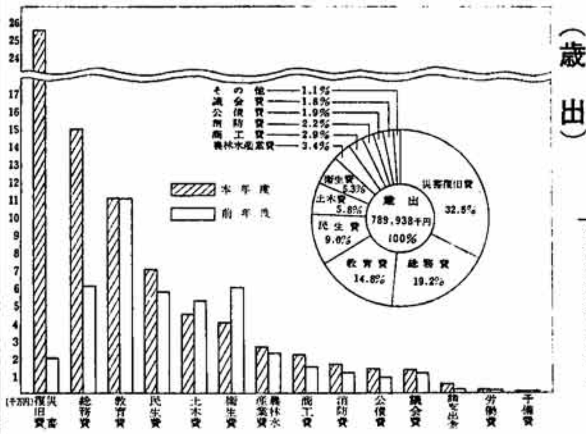
これは、現在ある焼却炉の能力限度をはるかにこえるごみがでるため、一日二〇トン焼却できる施設を建設するものです。

昭和40年度一般会計歳入歳出予算

（歳入）



（歳出）



昭和四十年度一般会計予算

歳入　（単位千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 市税	131,016	136,468	△ 5,452
2 地方交付税	150,000	125,000	25,000
3 分担金及び負担金	9,558	4,644	4,914
4 使用料及び手数料	5,934	4,244	1,690
5 国庫支出金	280,489	86,192	194,297
6 県支出金	10,017	6,773	3,244
7 財産収入	237	219	18
8 寄附金	1,260	7,016	△ 5,756
9 繰越金	40,350	17,048	23,302
10 諸収入	20,977	15,974	5,003
11 市債	140,100	44,300	95,800
歳入合計	789,938	447,878	342,060

歳出　（単位千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1議会費	14,408	12,650	1,758				14,408
2総務費	151,513	61,963	89,550	2,954	58,000	70	90,489
3民生費	71,200	58,546	12,654	43,477		3,200	24,523
4衛生費	41,553	61,280	△19,727	2,901	18,200	2,963	17,489
5労働費	1,963	1,756	207	837			1,126
6農林水産業費	27,088	23,645	3,443	1,937			25,151
7商工費	22,825	15,295	7,530				22,825
8土木費	45,641	53,697	△ 8,056	1,650			43,991
9消防費	17,137	12,864	4,273	500		1,120	15,517
10教育費	117,340	111,580	5,760	14,968	15,000		87,372
11災害復旧費	257,086	20,969	236,117	206,403	23,300	6,434	20,949
12公債費	14,909	10,633	4,276				14,909
13諸支出金	6,275	2,000	4,275				6,275
14予備費	1,000	1,000	0				1,000
歳出合計	789,938	447,878	342,060	275,627	114,500	13,787	386,024

予算編成方針

災害復旧に重点
二カ年継続事業で市庁舎新築

栃尾市長　千野勝司

昭和四十年度の予算編成についてかんたんに説明申し上げます。

予算総額は、七億八千九百九十三万八千円で前年度にくらべて七六パーセント、三億四千三百六万円の増で、いまだかつてない大型予算となり、予算規模はすでに本年度の頂点に達しております。

歳入 の面から申し上げますと、自主財源である市税は、地方税法の改正により前年度よりも五四五万円の減収となりました。

地方交付税につきましても、前年度の実績以上は望まれず、財源は、国県補助金と起債によつて求めるほかなく、歳出の面で前年度以上に消費的経費について圧縮を加えて建設的経費の捻出に努めました。

歳出 の面では、年頭のあいさつにも申し上げましたとおり、災害復旧事業を最重点として、公共土木災害農林業施設災害あわせて二億五千七〇〇万円の復旧費を見込んでおり、道路橋りよう費につきましては、三千八九〇万円で予算額の面では前年度よりも減少しておりますが、災害復旧との関連がありますので、実質的には増額であります。

次に永年の懸案でありました市庁舎を本年度と明年度の二カ年の継続事業として新築するため、本年度事業分八千三六二万五千円を計上いたしました。

環境衛生施設の面としては、一日処理能力二〇トンのごみ処理施設の建設費二千一九五万三千円を見込んでおります。

学校建築としては、栗山沢小学校の改築をはじめ、上塩中学校の塩川分校統合による校舎増築と南中学校体育館の第二期工事分および昭和三十九年度下塩小学校新築に伴う継続費分あわせて四千二六〇万円を予定しております。

中小企業の金融対策につきましては、産業育成資金を一千四〇〇万円に増額しさらに店舗改装資金二〇〇万円を新らしく設け、産業の伸展を期したいと存じております。その他社会福祉関係費につきましては、基準改訂による増額、給与改訂による増額等義務づけられた増額であります。

特別会計につきましては本年度から住宅問題解決の一助として、宅地造成事業特別会計を設けて平地区に約一万一千坪の宅地を造成するため一千一〇〇万円を計上しました。

その他上水道、ガス会計ともに災害は受けましたが事業が順調に進捗しておりますので、独立採算で充分な予算編成ができました。

また、国保会計につきましては、他市町村では赤字財政に悩み、社会問題化しつつありますが、当市においては、その心配もなく本年一月から七割給付を実施しております。以上申しあげまして説明といたします。

市税の内訳

（単位千円）

税目	本年度	前年度	前年度に比し増減（△減）
市民税	43,879	53,354	△ 9,475
固定資産税	51,905	49,980	1,925
軽自動車税	2,713	2,259	454
市町村たばこ消費税	15,600	15,000	600
電気ガス税	16,823	15,770	1,053
その他	96	105	△ 9
計	131,016	136,468	△ 5,452

昭和40年度特別会計予算

（単位千円）

会計別	本年度予算額	前年度予算額	前年度に比し増減（△減）
国民健康保険	98,087	66,903	31,184
上水道	33,516	27,586	5,930
ガス事業	45,003	72,432	△ 27,429
伝染病院	2,207	2,427	△ 220
公益質屋	2,200	2,200	
宅地造成事業	11,000	——	11,000
計	192,013	171,548	20,465

編集後記

この広報紙「広報とちお」も発行を重ねて今回で一〇〇号になりました。

かえりみれば、三十二年一月に第一号を出してから八年四カ月になるわけですが、その間、B五版からタブロイド版にと形こそかわりましたが内容は、ほとんどかわりばえせずに至つたことは、編集子としてすまない気持でいつぱいです。

次の号からは、又一号からの気持で心機一転し、親しまれる広報にしたい気持です。

この広報紙についてのご意見などお聞かせねがえればさいわいです。（編集子）